

モデム コマンドに関するガイドライン

HPノートブック シリーズ

製品番号：316740-192

2003年5月

このマニュアルでは、お使いのノートブック コンピュータのモデムでサポートされているATコマンド セットを選択、アクセス、および使用する方法について説明します。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、また本書の適用の結果生じた間接損害を含めいかなる損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、現状有姿のままで提供されるもので、商品性または特定目的への適合性に関する黙示の保証などを含むいかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品に対する保証は、当該製品に付属の限定的保証規定に明示的に記載されているものに限られます。**本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。**

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外では使用できない場合があります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

モデム コマンドに関するガイドライン
HPノートブック シリーズ
改訂第1版 2003年5月
初版 2003年2月
製品番号：316740-192

日本ヒューレット・パッカード株式会社

目次

モデム コマンドに関するガイドライン

このマニュアルでは、お使いのノートブック コンピュータのモデムでサポートされているATコマンド セットを選択、アクセス、および使用する方法について説明します。

特定のモデムに関する問題の解決方法については、モデムの製造元のWebサイトを参照するか、弊社のサポート窓口にお問い合わせください。

ハイパーターミナルへのアクセス

モデム コマンドは、Microsoft® Windows® オペレーティング システムに含まれているハイパーターミナルで入力できます。

ハイパーターミナルにアクセスするには、以下の手順で操作します。

- Windows XP Professionalをお使いの場合 : **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[アクセサリ]**→**[通信]**→**[ハイパーターミナル]**の順に選択します。
- Windows 2000 Professionalをお使いの場合 : **[スタート]**→**[プログラム]**→**[アクセサリ]**→**[通信]**→**[ハイパーターミナル]**の順に選択します。

コマンド セットの選択

コマンド セットはモデムの種類によって異なります。モデム コマンドを正しく使用するには、お使いのノートブック コンピュータでサポートされているコマンド セットを使用する必要があります。

モデムの確認

お使いのノートブック コンピュータに内蔵されているモデムのモデル名を表示するには、以下の手順で操作します。

1. Windows XP Professionalをお使いの場合 : **[スタート]**を選択して**[マイ コンピュータ]**を右クリックし、**[プロパティ]**→**[ハードウェア]**タブ→**[デバイス マネージャ]**ボタンの順に選択します。

   Windows 2000 Professionalをお使いの場合 : **[スタート]**→**[設定]**→**[コントロール パネル]**→**[システム]**アイコン→**[ハードウェア]**タブ→**[デバイス マネージャ]**ボタンの順に選択します。

2. **[モデム]** をダブルクリックします（お使いのモデムのアイコンと名前が表示されます)。

3. モデム名のアイコンをダブルクリックします（モデムのモデル名が表示されます)。

コマンド セットへのアクセス

ノートブック コンピュータのモデル名を確認してから、モデムの製造元のWebサイトを参照して、最新のコマンド セットを入手します。

ノートブック コンピュータでのコマンドの使用

コマンドの入力

ノートブック コンピュータでモデム コマンドを入力するときは、以下の指示に従います。

■ 必ずすべてのAT コマンド行の最初にアテンション コード（AT）を入力してください。AT コマンド行の最初にアテンション コード（AT）を入力しないと、コマンドは実行されません。ただし、A/コマンドまたは+++コマンドを使用する場合は、最初にATを入力する必要はありません。

- コマンド行の最初に入力する「AT」は、「At」や「aT」のように大文字と小文字を混ぜないでください。つまり、大文字または小文字のどちらかを使用して、「**AT**」または「**at**」と入力してください。
- ATの後に続くコマンドを入力する場合、すべての英大文字および小文字、または大文字と小文字を組み合わせての使用が可能です。
- 電話番号を入力する場合、括弧やハイフンなどの区切り記号を含めてもかまいません。次のどちらかのように入力してください。
例：**(123) 456-7890**または**123456789**

コマンドの編集

コマンドの入力を間違えた場合は、[Back Space]キーで間違えた文字を削除して、もう一度正しいコマンドを入力します。ただし、ATは入力後すぐに認識されるので削除できません。

コマンドの実行

コマンドを実行するには、[Enter]キーを押します（[Enter]キーを押すことで、モデムがコマンド行の処理を始めます）。

コマンドの再実行

直前に発行したコマンド行を再実行するには、A/コマンドを使用します。A/コマンドを再実行する場合、「**A/**」と入力するだけでAT文字が入力され[Enter]キーも押されたことになるので、これらの文字を入力したりキーを押したりする必要はありません。

直前に実行したコマンドは、モデムをリセットするかモデムの電源を切るまでコマンド バッファに保持されます。モデムのリセットや電源の切断を行うと、バッファがクリアされます。バッファがクリアされている間、A/コマンドは無効になります。

コマンド行でのパラメータの省略

通常は数値パラメータを伴うATHnなどのコマンドで数値パラメータを省略した場合、デフォルトの数値が入力されたとみなされます。

たとえば、Hn（回線切断）コマンドにはデフォルトである0（H0）または1（H1）を数値パラメータとしてつけることができますが、パラメータを省略して**ATH**と入力して[Enter]キーを押した場合、**ATH0**と入力して[Enter]キーを押したとして処理されます。

この規則は、D（ダイヤル文字列）コマンドには適用されません。

リザルト コードの形式の設定

リザルト コードとは、入力されたコマンドに対するモデムからの応答です。リザルト コードにはワード（長い形式）と数値（短い形式）の2つの形式があります。

リザルト コードの形式はVnコマンドで設定します。

- ワード形式には、V1（デフォルト）を使用します。
- 数値形式には、V0を使用します。

ローカル文字列エコーの設定

ローカル エコーは、受信したデータを送信元の端末に転送し、受信したデータの内容を確認する機能です。入力した文字列が画面に表示されない場合は、ローカル エコーがオフになっています。

ローカル エコー機能を設定するには、次のEnコマンドを使用します。

- ローカル エコーなしには、E0を使用します。
- ローカル エコーありには、E1を使用します。

オンライン モードおよびオンライン コマンド モードの使用

オンライン モードはデータ転送に、オンライン コマンド モードはコマンドの入力に使用します。

オンライン コマンド モードへの切り替え

オンライン モードからオンライン コマンド モードに切り替えるには、[Shift]キーを押しながら+++と入力します。

このエスケープ コマンドを正しく実行すると、次のような結果になります。

- OKリザルト コードが返されます。
- すでに確立されている接続は保持されますが、入力はローカルに解釈され、リモート接続には送信されません。

オンライン モードへの切り替え

オンライン コマンド モードからオンライン モードに切り替えるには、次のどちらかの方法を使用します。

- ATO（アルファベットの「O」）コマンドを入力します。
- ATH0（数字の「0」）コマンドを入力して接続を終了します。

コマンド モードへのショートカット アイコンの作成

Windowsのショートカット アイコンを作成して、オンライン コマンド モードでハイパーターミナルにアクセスできます。コマンドのショートカット アイコンをWindowsのデスクトップに作成するには、以下の手順で操作します。

1. ハイパーターミナルにコマンドのアイコンを作成します。



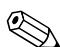
ハイパーターミナルにアクセスするには、以下の手順で操作します。

- Windows XP Professionalをお使いの場合：**[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[アクセサリ]**→**[通信]**→**[ハイパーターミナル]**の順に選択します。
- Windows 2000 Professionalをお使いの場合：**[スタート]**→**[プログラム]**→**[アクセサリ]**→**[通信]**→**[ハイパーターミナル]**の順に選択します。

   a. **[名前]**フィールドに**Command**と入力します。

   b. [OK]を選択します（**[接続の設定]**ダイアログボックスが表示されます）。

   c. **[接続方法]**フィールドで、モデムに使用されているCOMポートを選択します。



モデムに使用されているCOMポートを確認するには、以下の手順で操作します。

- Windows XP Professionalをお使いの場合：**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[プリンタとその他のハードウェア]**アイコン→**[電話とモデムのオプション]**アイコン→**[モデム]**タブの順に選択します。
- Windows 2000 Professionalをお使いの場合：**[スタート]**→**[設定]**→**[コントロール パネル]**→**[電話とモデムのオプション]**→**[モデム]**の順に選択します。

   d. [OK]を選択します（**[ポートの設定]**タブが表示されます）。

   e. [OK] を選択します（コマンド モード画面になり、左上に点滅カーソルが表示されます。モデムがコマンドを受信し、リザルト コードを返す準備ができました）。

f. **[ファイル]→[上書き保存]**の順に選択します（コマンドのアイコンが作成されますが、ハイパーターミナルを終了するまで表示されません)。

g. ハイパーターミナルを終了するには、**[ファイル]→[ハイパーターミナルの終了]**を選択します。

2. コマンドのアイコンにアクセスするには､以下の手順で操作します。

   a. Windows XP Professionalをお使いの場合 : **[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]**の順に選択します。

   b. Windows 2000 Professionalをお使いの場合 : **[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]**の順に選択します。

3. コマンドのアイコンへのショートカットを作成するには、コマンドのアイコンを選択し､**[ファイル]→[ショートカットの作成]**の順に選択します（コマンドのアイコンのショートカットが**[ハイパーターミナル]**ウィンドウに表示されます)。

4. ショートカット アイコンをデスクトップに表示するには､ショートカット アイコンを選択して、デスクトップにドラッグします。

5. ハイパーターミナルを終了するには、**[ファイル]→[ハイパーターミナルの終了]**を選択します。